

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-115374

(43)Date of publication of application : 07.05.1996

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G07D 9/00

(21)Application number : 06-249182

(71)Applicant : OKI ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 14.10.1994

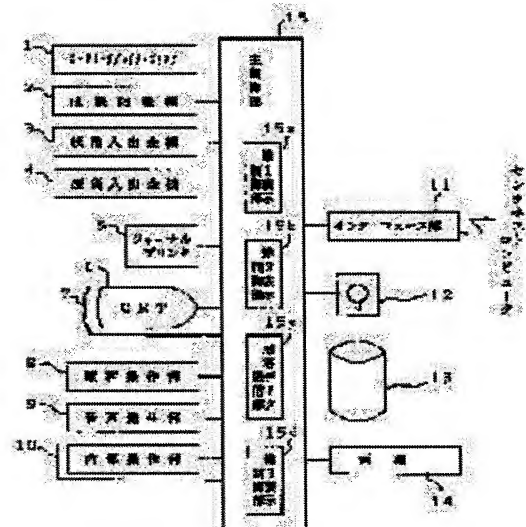
(72)Inventor : IDE MASAHIKO

(54) AUTOMATIC TRANSACTION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To guide about comodities even if customer does not come to a business office counter and know what kind of comodity clients desire.

CONSTITUTION: This device is equipped with a 1st display control part 15a which calls sales comodity group data from a center host computer on the basis of a comodity data acquisition command and also displays the sales comodity group data on a screen display part 6 on the basis of a transaction start command, a 2nd display control part 15b which calls a selected article command key for calling a sales comodity selected from among the sales comodity group data and guidance data on the selected sales comodity and displays the guidance data on the screen display part, and a customer data transmission part 15c which sends a communication destination input key for inputting communication destination data on a customer according to whether or not a mediumless key is operated and the communication destination data and selected sales comodity data to the center host computer.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 16.01.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 13.06.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-115374

(43)公開日 平成8年(1996)5月7日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00				
G 0 7 D 9/00	4 2 6 Z		G 0 6 F 15/ 30	3 2 0 A

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平6-249182

(22)出願日 平成6年(1994)10月14日

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 井手 雅彦

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

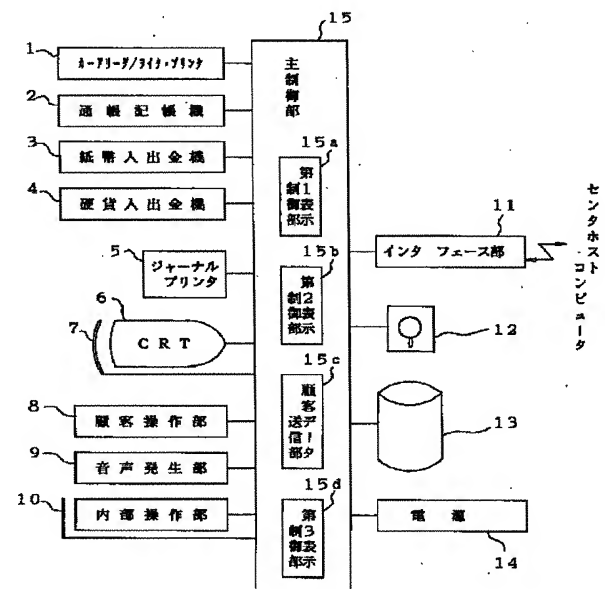
(74)代理人 弁理士 佐々木 宗治 (外3名)

(54)【発明の名称】 自動取引装置

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 営業店窓口で顧客が来なくても商品の案内が可能で、顧客がどの商品を希望しているか知ることができるようにする。

【構成】 商品データ取得指令に基づきセンタホストコンピュータよりセールス商品群データを呼出すと共に、取引開始指令に基づきセールス商品群データを画面表示部6に表示させる第1表示制御部15aと、セールス商品群データから選択されたセールス商品を呼出すための選択商品指令キーと、選択されたセールス商品のガイダンスデータを出し、そのガイダンスデータを画面表示部に表示させる第2表示制御部15bと、媒体なしキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力させる連絡先入力キーと、連絡先データと選択されたセールス商品データをセンタホストコンピュータに送信する顧客データ送信部15cとを備えて構成される。



本発明の第1実施例の自動取引装置の構成を示すブロック図

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 装入された媒体に基づいてセンタホストコンピュータと交信して預金の出し入れと共に預金の出し入れを通帳に記入し、その金額を画面表示手段に表示させる自動取引装置において、

顧客の操作に基づいてセールス商品の案内を行うためにセールス商品群データと呼出す商品データ取得指令を出力する商品データ取得指令キーと、

顧客の操作に基づいてセールス商品の取引を開始させるための取引開始指令を出力する取引開始キーと、

商品データ取得指令キーによる商品データ取得指令に基づきセンタホストコンピュータよりセールス商品群データと呼出すと共に、取引開始キーによる取引開始指令に基づき該セールス商品群データを前記画面表示手段に表示させる第 1 表示制御手段と、

前記画面表示手段に表示されたセールス商品群データの内、顧客の操作により所定の希望したセールス商品が選択されると、その選択されたセールス商品と呼出すための選択商品指令を出力する選択商品指令キーと、

選択商品指令キーの指令に基づきセンタホストコンピュータより選択されたセールス商品のガイダンスデータと呼出し、該セールス商品のガイダンスデータを前記画面表示手段に表示させる第 2 表示制御手段と、

顧客の操作により媒体なしを通知する媒体なしキーと、媒体なしキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力させる連絡先入力キーと、

連絡先入力キーによって入力された連絡先データと前記選択商品指令手段によって選択されたセールス商品データを前記センタホストコンピュータに送信する顧客データ送信手段と、

を備えたことを特徴とする自動取引装置。

【請求項 2】 前記商品データ取得指令キーと、前記取引開始キーと、前記選択商品指令キーと、前記媒体なしキーと、前記連絡先入力キーとは、前記画面表示手段の表示面の前面に設けられたタッチパネルとして構成されていることを特徴とする請求項 1 記載の自動取引装置。

【請求項 3】 装入された媒体に基づいてセンタホストコンピュータと交信して預金の出し入れと共に預金の出し入れを通帳に記入し、その金額を画面表示手段に表示させ、さらに取引の処理中に商業案内を画面表示手段に表示させる自動取引装置において、顧客の操作に基づいて商業商品の資料を請求するための資料請求指令を出力する資料請求キーと、資料請求キーの資料請求指令に基づきセンタホストコンピュータより資料請求された商業商品のガイダンスデータと呼出し、該商業商品のガイダンスデータを前記画面表示手段に表示させる表示制御手段と、

顧客の連絡先データを入力させる連絡先入力キーと、

連絡先入力キーによって入力された連絡先データと前記資料請求キーの資料請求指令に基づき請求された商業商品データを前記センタホストコンピュータに送信する顧客データ送信手段と、

を備えたことを特徴とする自動取引装置。

【請求項 4】 前記資料請求キーと、前記連絡先入力キーとは、前記画面表示手段の表示面の前面に設けられたタッチパネルとして構成されていることを特徴とする請求項 1 記載の自動取引装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は金融機関向け自動取引装置（以下、ATM と称す）、特に ATM での金融商品等の表示案内に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、金融商品の案内は営業店等のポスターやパンフレット又は ATM の通信処理中に画面に商業案内をしているのみであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の ATM は、装入されたキャッシュカード、通帳等の媒体に基づいてセンタホストコンピュータと交信して預金の出し入れと共に預金の出し入れを通帳に記入し、その金額を画面表示手段に表示させるものである。しかしながら、従来の営業店等のポスター、パンフレットや ATM の画面表示手段の画面での金融商品の商業案内では、どの顧客がどういう商品に興味があるかは、顧客が窓口へ行かなければ営業店では分からない状況であり、商品の顧客への案内はよく窓口へ来る顧客以外へはなかなか拡大しないという問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る自動取引装置は、顧客の操作に基づいてセールス商品の案内を行うためにセールス商品群データと呼出す商品データ取得指令を出力する商品データ取得指令キーと、顧客の操作に基づいてセールス商品の取引を開始させるための取引開始指令を出力する取引開始キーと、商品データ取得指令キーによる商品データ取得指令に基づきセンタホストコンピュータよりセールス商品群データと呼出すと共に、取引開始キーによる取引開始指令に基づき該セールス商品群データを前記画面表示手段に表示させる第 1 表示制御手段と、前記画面表示手段に表示されたセールス商品群データの内、顧客の操作により所定の希望したセールス商品が選択されると、その選択されたセールス商品と呼出すための選択商品指令を出力する選択商品指令キーと、選択商品指令キーの指令に基づきセンタホストコンピュータより選択されたセールス商品のガイダンスデータと呼出し、該セールス商品のガイダンスデータを前記画面表示手段に表示させる第 2 表示制御手段と、顧客の操作により媒体なしを通知する媒体なしキーと、媒体な

しキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力させる連絡先入力キーと、連絡先入力キーによって入力された連絡先データと前記選択商品指令手段によって選択されたセールス商品データを前記センタホストコンピュータに送信する顧客データ送信手段とを備えている。

【0005】

【作用】本発明においては、顧客が商品データ取得指令キーを操作すると、セールス商品の案内を行うためにセールス商品群データを呼出す商品データ取得指令を出力し、その指令を受けた第1表示制御手段はその指令に基づきセンタホストコンピュータよりセールス商品群データを呼出す。そして、さらに顧客が取引開始キーを操作すると、セールス商品の取引を開始させるための取引開始指令を出力し、その指令を受けた第1表示制御手段はその指令に基づき商品データ取得指令によって呼び出されたセールス商品群データを画面表示手段に表示させる。

【0006】次に、顧客は媒体を装入するか、或いは媒体が無い場合には媒体なしキーを操作する。しかる後に、顧客は画面表示手段の画面に表示されたセールス商品群データから所定の希望したセールス商品を選択し、選択商品指令キーを操作するとその選択されたセールス商品を呼出すための選択商品指令を出力する。その指令を受けた第2表示制御手段はその指令に基づきセンタホストコンピュータより選択されたセールス商品のガイダンスデータを呼出し、該セールス商品のガイダンスデータを前記画面表示手段に表示させる。その後、顧客が連絡先入力キーを操作して媒体なしキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力させると、顧客データ送信手段は連絡先入力手段によって入力された連絡先データと前記選択商品指令キーによって選択されたセールス商品データをセンタホストコンピュータに送信し、センタホストコンピュータではこれらのデータを登録する。

【0007】

【実施例】

(第1の実施例)

(構成) 図1は本発明の第1実施例に係る自動取引装置の構成を示すブロック図、図2は同自動取引装置の処理手順を示すフローチャート、図3～図5は処理中の画面表示例で、図3は希望商品の選択画面を示し、図4は希望商品のガイダンスを示し、図5は取引終了時のガイダンスを示している。

【0008】図において、1は自動取引装置(ATM)における装入されたキャッシュカード等の媒体の情報を読取り、媒体に情報を書き込むカードリーダー/ライター・プリンタ、2は装入された通帳に預金の出し入れを記帳する通帳記帳機、3は紙幣出入金機、4は硬貨出入金機、5はジャーナルプリンタ、6は画面表示手段であるCR

T、7はCRT5の表示面の前面に設けられたタッチパネルである。このタッチパネル7は顧客の操作に基づき、セールス商品の案内を行うためにセールス商品群データを呼出す商品データ取得指令キーや、セールス商品の取引を開始させるための取引開始指令を出力する取引開始キーや、表示されたセールス商品群データの内、選択されたセールス商品を指令として出力する選択商品指令キーや、媒体なしを通知する媒体なしキーや、媒体なしキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力させる連絡先入力キーや、顧客が連絡先データを正しく入力したか否かを確認させる確認キーとしての機能をCRT5の表示と相俟って果たすものである。

【0009】8は顧客がブザーを鳴らしたり、扉を開けたり等するための操作を行う顧客操作部、9は顧客に種々の処理状況や操作指令を報知する音声発生部、10はATMにお金を入れたり出したり、定期点検したりするために装置の裏側に設けられたタッチパネルを有する内部操作部、11はセンタホストコンピュータと接続するためのATMのインタフェース部、12はフロッピーディスクドライブ、13はハードディスクドライブ、14は電源、15はカードリーダー/ライター・プリンタ1～ハードディスクドライブ13までの制御を行う主制御部、15aは所定の指令に基づきセンタホストコンピュータよりセールス商品群データを呼出し、該セールス商品群データをCRT6に表示させる第1表示制御部、15bは所定の指令に基づきセンタホストコンピュータより選択されたセールス商品のガイダンスデータを呼出し、該セールス商品のガイダンスデータをCRT6に表示させる第2表示制御部、15cは入力された連絡先データと選択されたセールス商品データをセンタホストコンピュータに送信する顧客データ送信部、15dは所定の指令に基づき内蔵するメモリより取引終了ガイダンスデータを呼出し、該取引終了ガイダンスデータをCRT6に表示させる第2表示制御部である。

【0010】(動作) 以下、本発明の一実施例の自動取引装置の動作を図1及び図2のフローチャートを参照して説明する。まず、顧客がATMのタッチパネル7の商品データ取得指令キーを押下操作すると、セールス商品の案内を行うためにセールス商品群データを呼出す商品データ取得指令が第1表示制御部15aに入力され、第1表示制御部15aはその指令に基づきセンタホストコンピュータよりセールス商品群データを呼出して取引開始前にそのセールス商品群データを取得する。ここでは取引開始前にデータを取得するが、次に述べるステップS2の処理後にセンタホストコンピュータよりデータを取得してもかまわない。

【0011】次に、ATMの画面表示手段であるCRT6の画面中のセールス商品の取引を開始させるための“セールス商品案内”を示すタッチパネル7の取引開始キーを押下操作することにより、取引開始指令が第1表

示制御部15aに入力される。その第1表示制御部15aはその指令に基づきセールス商品の案内取引のプログラムを開始させる(図2のステップS1)。

【0012】セールス商品の案内取引のプログラムが開始されると、次に、顧客は媒体を装入するか、或いは媒体が無い場合には“媒体なし”を示すタッチパネル7の媒体なしキーを押下操作する。(図2のステップS2)。このステップS2は自行の客又は自行と取引のない客の識別を行うためのものである。媒体を装入するか、或いは媒体なしキーを押下操作すると、第1表示制

御部15aは取引開始キーの取引開始指令と媒体を装入或いは媒体なしキーの操作に基づいてCRT6の画面中にセンタホストコンピュータより取得しておいたセールス商品群データのセールス商品を図3に示す如く表示する。

【0013】CRT6の画面中のセールス商品を見た顧客が希望する商品を選択し、その選択されたセールス商品についてタッチパネル7の選択商品指令キーを顧客が操作すると(図2のステップS3)、選択商品指令キー

による選択商品指令を受けた第2表示制御部15bはその指令に基づきセンタホストコンピュータより選択されたセールス商品の簡単な案内データであるガイダンスデータと呼出し、CRT6の画面中に図4に示す如くそのガイダンスデータを表示させる(図2のステップS4)。

【0014】その後、顧客はタッチパネル7の連絡先入力キーを押下操作し、後日くわしい案内を銀行より行うための連絡先電話番号を入力させる。なお、前のステップS4の処理で、媒体なしキーを押下操作している場合は顧客は自行の客でないため、顧客の名前も入力させておく(図2のステップS5)。その顧客による連絡先入力データはCRT6の画面に表示され、このとき希望した選択商品も表示されるから顧客に確認キーを押下操作させて確認させる(図2のステップS6)。顧客が確認キーを押下操作すると、確認キーによる確認指令と連絡先入力キーによる連絡先入力データと選択商品指令キーによって選択されたセールス商品データが顧客データ送信部15cに入力される。顧客データ送信部15cは連絡先データと選択商品指令キーによって選択されたセールス商品データをセンタホストコンピュータに送信する。

【0015】センタホストコンピュータでは希望した選択商品データを該当顧客情報ファイルに登録(他行客については、連絡先、希望商品を含め当ファイルに追加登録)し、担当営業店へ通知を行う。また、確認キーによる確認指令を受けた第3表示制御部15bはその指令に基づき内蔵するメモリより取引終了ガイダンスデータと呼出し、該取引終了ガイダンスデータをCRT6に表示させ(図2のステップS7)、取引が終了する。

【0016】(効果)以上のように、第1実施例によれ

ば、顧客がATRのタッチパネル7の商品データ取得指令キーと取引開始キーを操作すると、主制御部15の第1表示制御部15aが商品データ取得指令キーの商品データ取得指令と取引開始キーの取引開始指令に基づいてCRT6の画面にセンタホストコンピュータから呼び出したセールス商品群データである複数のセールス商品を表示し、顧客が表示された複数のセールス商品から希望する商品を選択し、選択した商品についての選択商品指令キーを操作すると第1表示制御部15aが選択商品指令キーの選択商品指令に基づいてCRT6の画面にセンタホストコンピュータから呼び出した選択した商品の簡単なガイダンスを表示し、顧客が連絡先入力キーを操作して媒体なしキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力すると、その連絡先入力データと選択されたセールス商品とがセンタホストコンピュータに送信され、センタホストコンピュータでは選択商品データと連絡先データを該当顧客情報ファイルに登録するから、営業店窓口で顧客が来なくても商品の案内が可能であり、どの顧客がどの商品を希望しているか知ることができ、どの商品に人気があるかの情報を得ることが可能となって金融戦略の有効なデータとなる。

【0017】特に、窓口に来ない顧客に対しても後日詳しい案内をすることができるようになり、きめ細かなサービスが銀行としてすることができるようになる。また、媒体なしキーを設けることにより、自銀行と取引のない顧客に対してもサービスすることが可能となり、顧客獲得の重要な戦略にもなり得る。

【0018】(第2の実施例)

(構成)図6は本発明の第2実施例に係る自動取引装置の主制御部の構成を示すブロック図である。図において、図1の実施例と異なる構成の主制御部について説明する。25は図1の主制御部と同様な制御を行う主制御部、25aは所定の指令に基づきセンタホストコンピュータよりコマーシャル商品のガイダンスデータと呼出し、該コマーシャル商品のガイダンスデータをCRT6に表示させる第1表示制御部、25bは入力された連絡先データとガイダンスデータを要求したコマーシャル商品データをセンタホストコンピュータに送信する顧客データ送信部、25cは所定の指令に基づき内蔵するメモリより取引終了ガイダンスデータと呼出し、該取引終了ガイダンスデータをCRT6に表示させる第2表示制御部である。なお、この実施例では媒体なしキーは設けられていない。

【0019】(動作)第1の実施例では予めセール商品群をセンタホストコンピュータより取得するようにしているが、この実施例ではすでに取引通信中のCRT6の画面にコマーシャル案内を行っているATMであって、CRT6の画面中のコマーシャル商品を見た顧客がタッチパネル7の“資料請求”を示す資料請求キーを顧客が操作すると、資料請求キーによる資料請求指令を受けた

第 1 表示制御部 25 b はその指令に基づきセンタホストコンピュータよりコマーシャル商品の簡単な案内データであるガイダンスデータを出し、CRT 6 の画面中に図 4 に示すようにそのガイダンスデータを表示させる。それ以降の処理は実施例 1 と同様で、連絡先入力、連絡先の確認、取引終了のガイダンスが行われて取引が終了する。

【0020】(効果) 以上のように、第 2 実施例によれば、すでに取引通信中の CRT 6 の画面にコマーシャル案内を行っている場合、顧客がタッチパネル 7 の資料請求キーを操作すると、資料請求キーの資料請求指令を受けた第 1 表示制御部 25 b はその指令に基づきセンタホストコンピュータよりコマーシャル商品の簡単な案内データであるガイダンスデータを出し、CRT 6 の画面中にそのガイダンスデータを表示し、顧客が連絡先入力キーを操作して顧客の連絡先データを入力すると、その連絡先入力データとコマーシャル案内されたコマーシャル商品とがセンタホストコンピュータに送信され、センタホストコンピュータではコマーシャル商品データと連絡先データを該顧客情報ファイルに登録するから、営業店窓口

【0021】

【発明の効果】 以上のように本発明によれば、顧客が商品データ取得指令キーと取引開始キーを操作すると、主制御部の第 1 表示制御部が商品データ取得指令キーの商品データ取得指令と取引開始キーの取引開始指令に基づいて画面表示手段の画面にセンタホストコンピュータから呼び出したセールス商品群データである複数のセールス商品を表示し、顧客が表示された複数のセールス商品から希望する商品を選択し、選択した商品についての選択商品指令キーを操作すると第 1 表示制御部が選択商品指令キーの選択商品指令に基づいて画面表示手段の画面にセンタホストコンピュータから呼び出した選択した商品の簡単なガイダンスを表示し、顧客が連絡先入力キーを操作して媒体なしキーの操作の有り、無しに応じた顧客の連絡先データを入力すると、その連絡先入力データと選択されたセールス商品とがセンタホストコンピュータに送信され、センタホストコンピュータでは選択商品データと連絡先データを該顧客情報ファイルに登録するようにしたので、営業店窓口

顧客が来なくても商品の案内が可能であり、どの顧客がどの商品を希望しているか知ることができ、どの商品に人気があるかの情報を得ることが可能となって金融戦略の有効なデータとな

り、特に、窓口に来ない顧客に対しても後日詳しい案内をすることができるようになり、きめ細かなサービスが銀行としてすることができるようになる効果がある。また、媒体なしキーを設けることにより、自銀行と取引のない顧客に対してもサービスすることが可能となり、顧客獲得の重要な戦略にもなり得るという効果もある。

【0022】 また、もう一つの発明によれば、取引通信中の画面表示手段の画面にコマーシャル案内を行っている場合、顧客が資料請求キーを操作すると、資料請求キーの資料請求指令を受けた第 1 表示制御部はその指令に基づきセンタホストコンピュータよりコマーシャル商品の簡単な案内データであるガイダンスデータを出し、画面表示手段の画面中にそのガイダンスデータを表示し、顧客が連絡先入力キーを操作して顧客の連絡先データを入力すると、その連絡先入力データとコマーシャル案内されたコマーシャル商品とがセンタホストコンピュータに送信され、センタホストコンピュータではコマーシャル商品データと連絡先データを該顧客情報ファイルに登録するようにしたので、営業店窓口

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第 1 実施例に係る自動取引装置の構成を示すブロック図である。

【図 2】 同実施例の自動取引装置の処理手順を示すフローチャートである。

【図 3】 処理中の希望商品の選択画面を示す画面表示例である。

【図 4】 処理中の希望商品のガイダンスを示す画面表示例である。

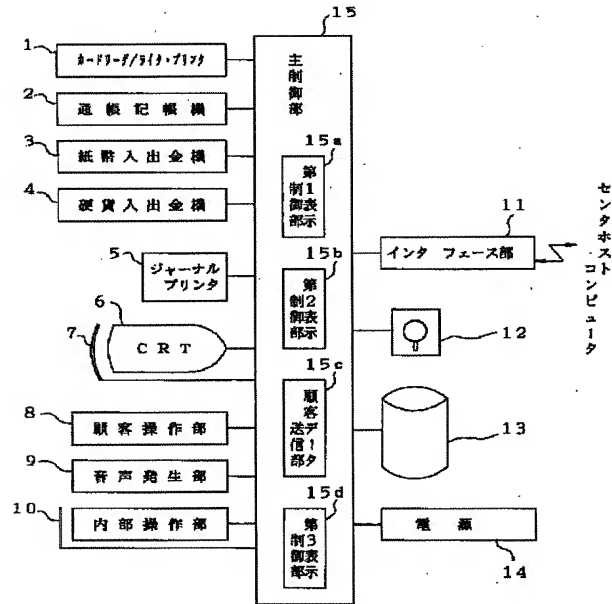
【図 5】 処理中の取引終了時のガイダンスを示す画面表示例である。

【図 6】 本発明の第 2 実施例に係る自動取引装置の主制御部の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

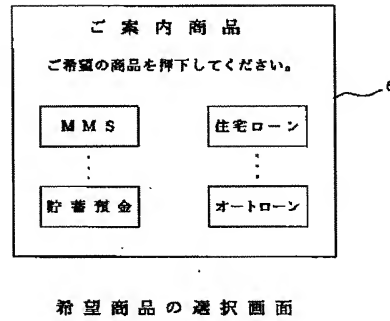
- 1 自動取引装置
- 6 CRT (画面表示手段)
- 7 タッチパネル
- 15 主制御部
- 15 a 第 1 表示制御部 (第 1 表示制御手段)
- 15 b 第 2 表示制御部 (第 2 表示制御手段)
- 15 c 顧客データ送信部 (顧客データ送信部)
- 15 d 第 3 表示制御部 (第 3 表示制御手段)

【図1】

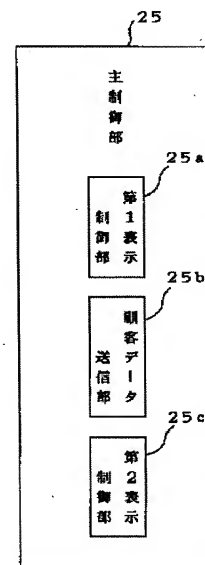


本発明の第1実施例の自動取引装置の構成を示すブロック図

【図3】

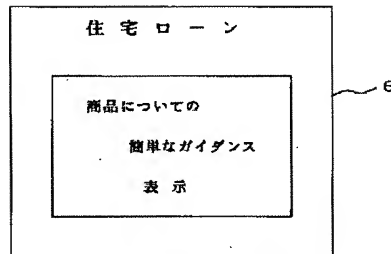


【図6】



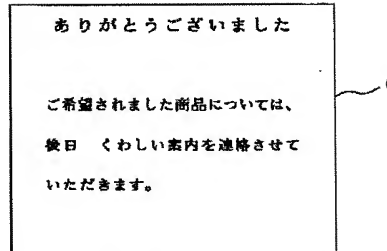
本発明の第2実施例の主制御部の構成を示すブロック図

【図4】



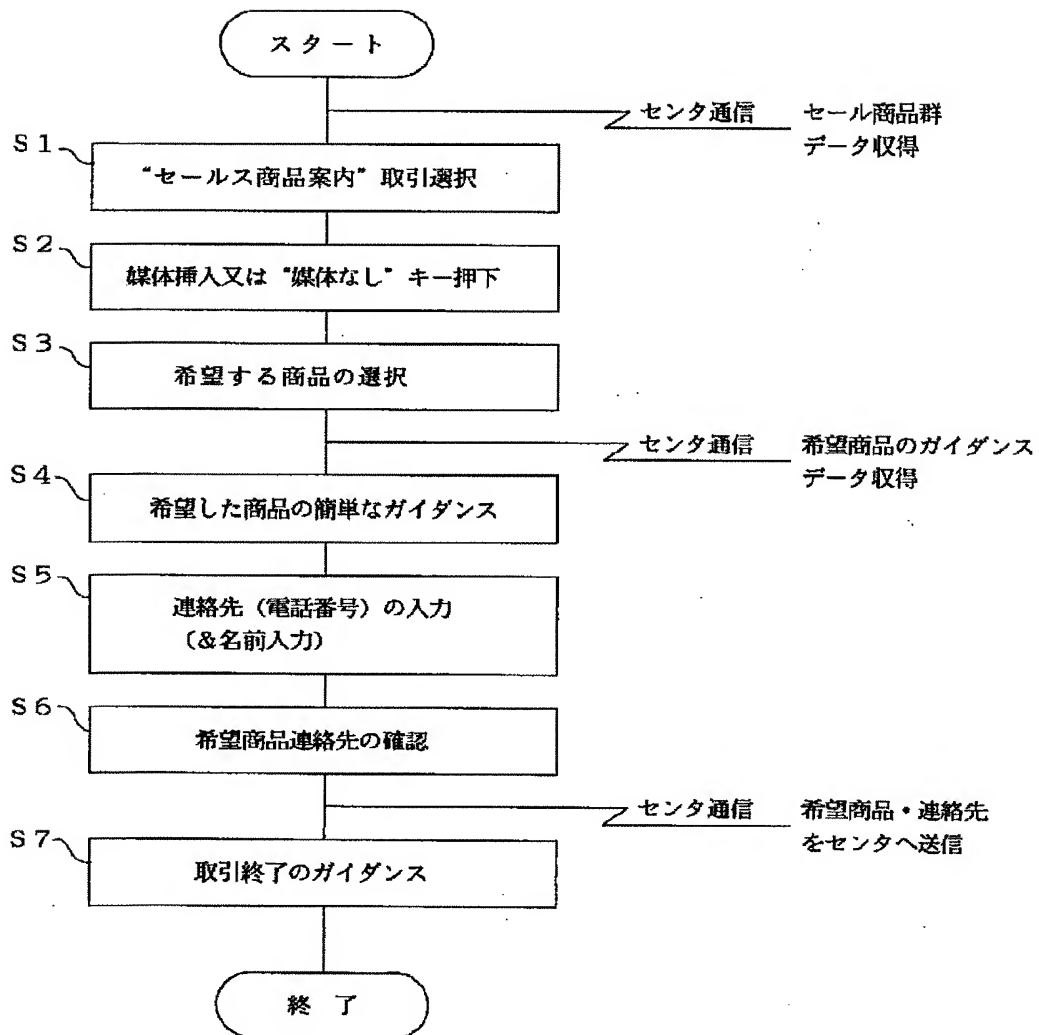
希望商品のガイダンス

【図5】



取引終了時のガイダンス

【図2】



本発明の処理手順のフローチャート